

みえの水産

—2010年度版—



三重県



はじめに

三重県は、全国でも水産業が盛んな県のひとつとして知られています。

南北に延びる海岸線は 1,095km に及び、遠浅の砂浜が広がる伊勢湾、伊勢志摩地域の離島や複雑に入り組んだ美しいリアス式海岸、海岸近くまで山々がせまり、黒潮の影響を強く受ける熊野灘沿岸など、変化に富む三重県の海岸は、我が国の縮図ともいえます。



英虞湾のリアス式海岸

また、県内各地に点在する漁村では、地域の特色をいかして多種多様な漁業が営まれています。

ガイドブック「みえの水産」は、三重県の漁業やその役割などについて、図や写真を用いて解説したものです。この冊子を通じて、次世代の後継者である若者をはじめ、広く県民の皆様が、水産業や漁村文化に興味をもち、理解を深めていただくことが出来たら幸いです。

目次

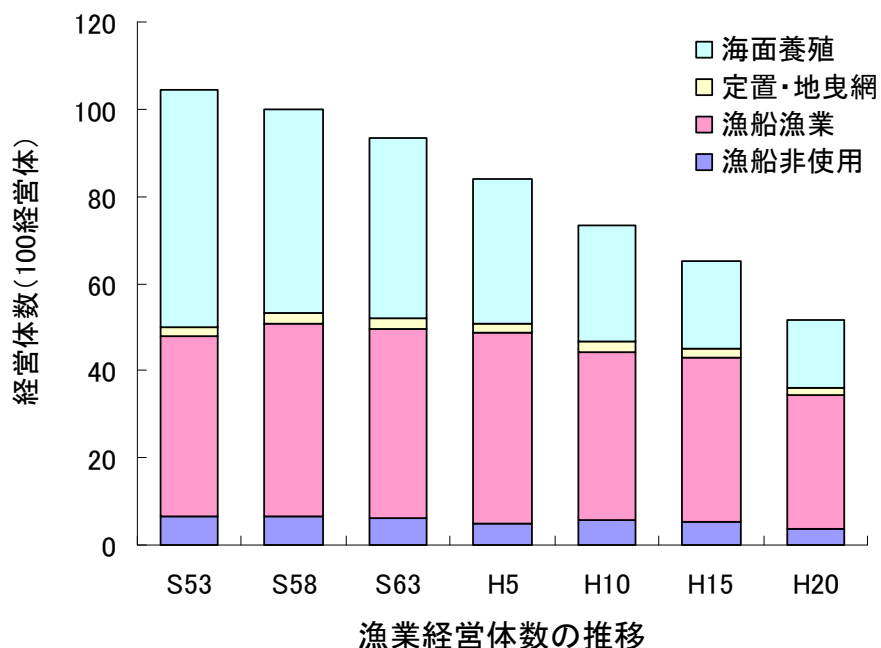
三重県漁業の概要・・・・・・・・・・・・・2	漁村の伝統文化を継承する・・・・・・・・・・・・・23
（1）漁業経営体数	（1）伝統行事
（2）漁業就業者数	（2）食文化
（3）海面漁業生産量と生産額	漁業を支える漁港・漁村・漁場の整備・・・・・・・・・・・・・25
（4）漁業種類別漁獲量と生産額	（1）三重の漁港位置図
（5）海面養殖業の収穫量と生産額	（2）活力ある漁港づくり
（6）三重県的主要な漁業	（3）豊かな漁村づくり
①小型底びき網漁業	（4）災害に強い漁村づくり
②機船船びき網漁業	（5）恵まれた漁場環境づくり
③採貝漁業	地域を支える漁協組織・・・・・・・・・・・・・31
④釣漁業	（1）三重の沿海漁業協同組合位置図
⑤刺し網漁業	（2）県内の漁業協同組合
⑥海女（海士）漁業	（3）漁協合併の実績
⑦まき網漁業	伊勢志摩地域の水産トピックス・・・・・・・・・・・・・33
⑧定置網漁業	（1）アサリ
⑨敷網漁業（火光利用棒受網）	（2）アラメ
⑩黒のり養殖業	（3）イセエビのオーナー制
⑪青のり養殖業	（4）新魚種養殖
⑫かき養殖業	三重県的主要な水産情報サイト・・・・・・・・・・・・・38
⑬真珠養殖業	（1）海と魚の情報サイト
⑭魚類養殖業	（2）漁業団体の情報サイト
豊かな資源をつくり守る・・・・・・・・・・・・・21	（3）食の情報サイト
（1）栽培漁業	三重県的主要な水産関係機関・・・・・・・・・・・・・40
（2）資源管理	

三重県漁業の概要

(1) 漁業経営体数

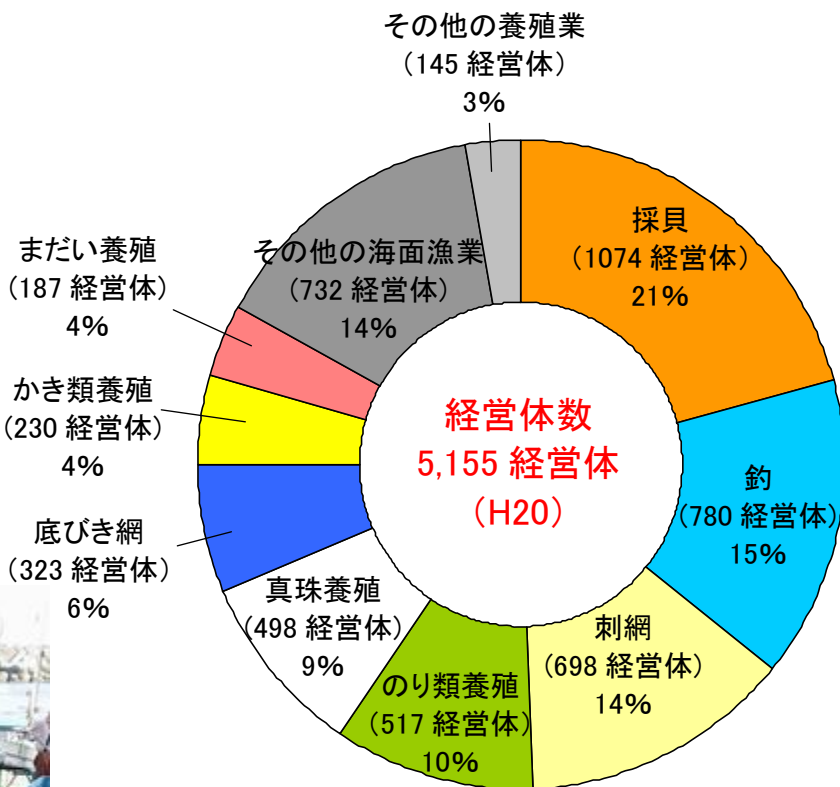
平成 20 年の漁業経営体数は 5,155 経営体でした。そのうち、漁船漁業を行う経営体が最も多く、3,072 経営体で、全体の 60% を占めています。

漁業経営体数は、30 年前の昭和 53 年に比べ、5,291 経営体 (51%) 減少しています。特に海面養殖業における減少が著しく、昭和 53 年の 5,437 経営体に比べ、3,889 経営体 (72%) の減少となっています。



主とする漁業種類別経営体をみると、採貝漁業に従事した経営体が最も多く、1,074 経営体で全体の 21% を占めています。

次いで釣漁業が多く、780 経営体 (15%) で、刺網、のり類養殖、真珠養殖、底びき網、かき類養殖、まだい養殖と続きます。



主とする漁業種類別経営体数の構成比

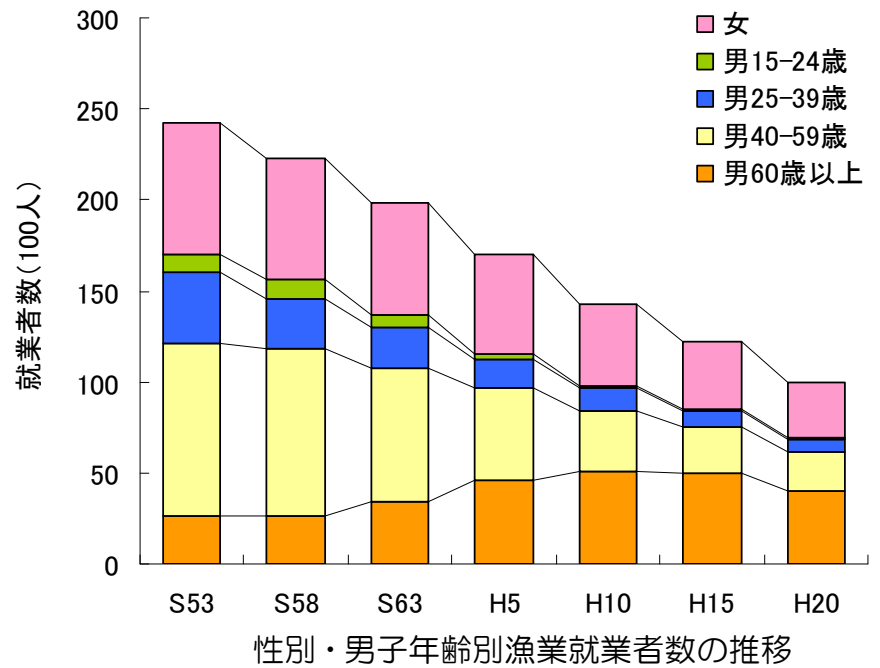


市場の様子

(2) 漁業就業者数

平成20年における総漁業就業者数は9,900人であり、昭和53年と比べると、14,300人(59%)減少しており、初めて10,000人を下回りました。

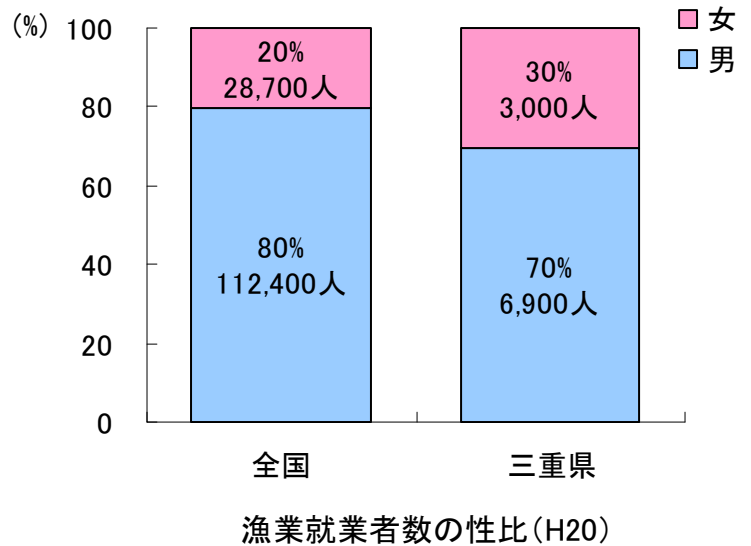
また、男子における60歳以上の漁業就業者が占める割合は、昭和53年には15%であったのに対し、平成20年では58%と年々増加傾向にあり、漁業就業者の高齢化が進んでいます。



男女別にみると男性就業者6,900人に対し、女性就業者は3,000人で、全体の30%を占めています。

全国の漁業就業者に対する女性就業者の割合が20%であることからわかるように、三重県において、女性就業者は漁業を支える重要な役割を担っていると考えられます。

女性就業者のうち、多くが海女として活動しています。海の博物館の調査によると昭和53年に3,167人いた海女は平成19年度には1,081人にまで減少し、平成22年度は973人と初めて1,000人を割り込みました。



※漁業センサス結果報告書

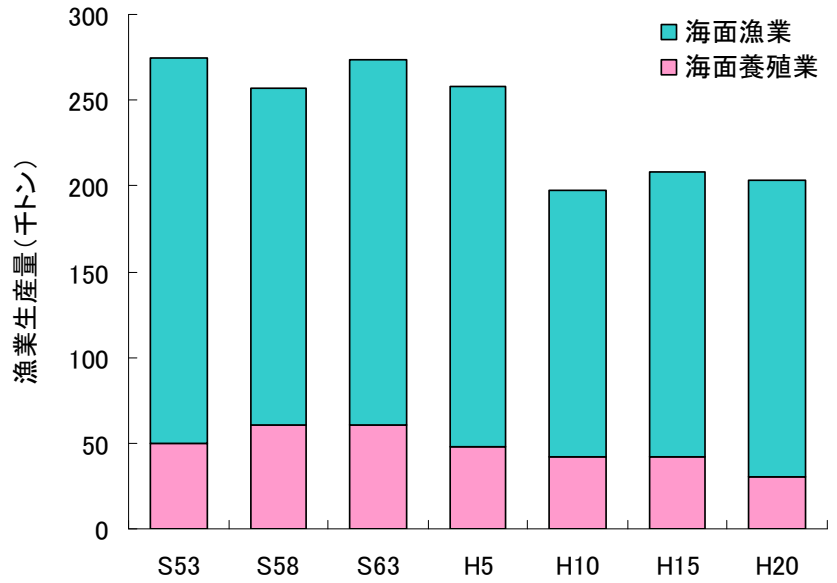


漁獲物選別の様子

(3) 海面漁業生産量と生産額

平成20年の海面漁業総生産量は202,775トンで、構成比は、海面漁業（沿岸・沖合・遠洋）が85%(172,822トン)、海面養殖業が15%(29,953トン)となっています。

漁業生産量は30年前の昭和53年に比べ、71千トン（26%）減少しています。



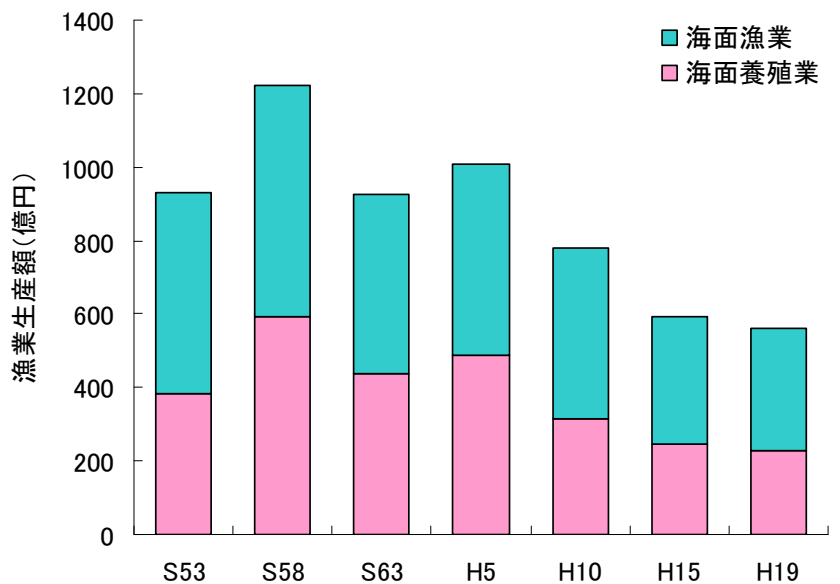
海面漁業生産量の推移

海面漁業生産量の主要指標(H20)

区分	全国(t)	三重県(t)	全国シェア(%)	全国順位	
				H20	H19
海面漁業	4,373,337	172,822	4.0	7	6
海面養殖業	1,146,350	29,953	2.6	12	12

また、平成19年の海面漁業総生産額は334億円で、構成比は海面漁業（沿岸・沖合・遠洋）が60%(334億円)、海面養殖業が40%(226億円)となっています。

*生産額は平成20年の結果が未発表のため、平成19年の結果を掲載しました。



海面漁業生産額の推移

海面漁業生産額の主要指標(H19)

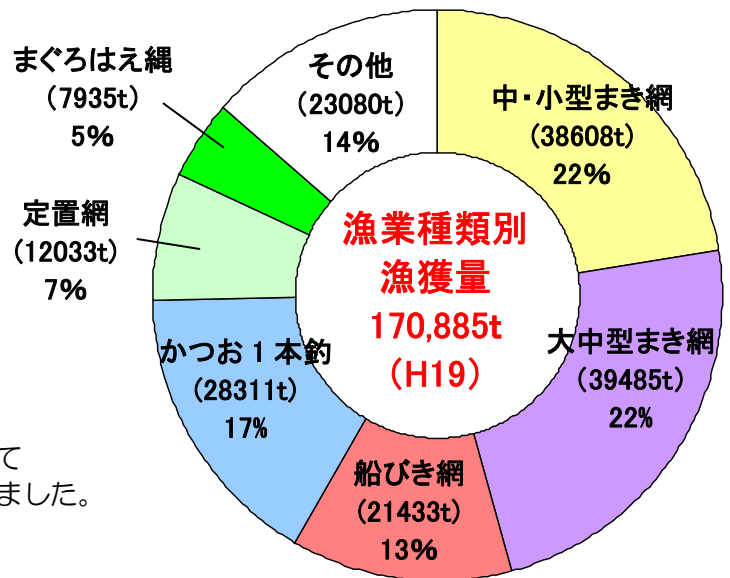
区分	全国(100万円)	三重県(100万円)	全国シェア(%)	全国順位	
				H19	H18
海面漁業	1,126,448	33,402	3.0	8	8
海面養殖業	448,955	22,586	5.0	8	8

(4) 漁業種類別漁獲量と生産額

平成19年の海面漁業の総漁獲量は170,885 tでした。中・小型まき網による漁獲量(38,608 t)と大中型まき網による漁獲量(39,485 t)で全体の44%を占めています。

平成20年度の海面漁業の総漁獲量は、172,822トンとなっています。

*漁業種類別漁獲量は平成20年の結果が公表されていないものがあるため、平成19年の結果を掲載しました。



漁業種類別漁獲量の構成比

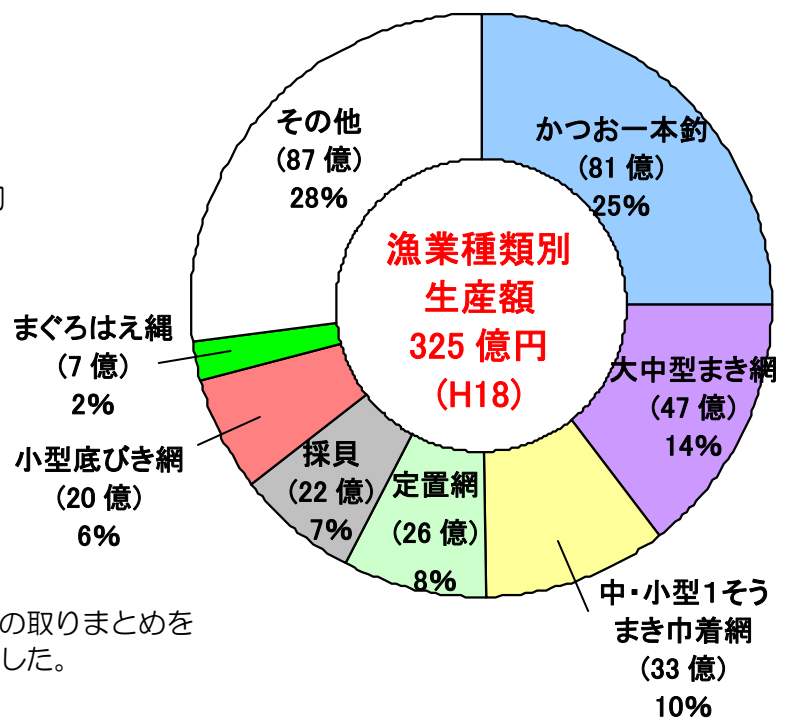
漁業種類別漁獲量の主要指標(H20)

区分	全国 (トン)	三重県 (トン)	全国 シェア(%)	全国順位	
				H20	H19
船びき網	255,363	35,571	13.9	2	2
遠洋かつお一本釣	59,586	14,895	25.0	1	1
近海かつお一本釣	47,010	8,349	17.8	3	3
沿岸かつお一本釣	11,001	873	7.9	2	2
大型定置網	263,422	9,728	3.7	10	9
採貝・採藻	150,560	4,069	2.7	7	5

平成18年の海面漁業の総生産額は325億円でした。そのうち、かつお一本釣による生産額が81億円であり、全体の25%を占めています。

その他、大中型まき網が47億円(14%)、中・小型1そうまき巾着網が33億円(10%)となっています。

平成19年度の海面漁業の総生産額は、334億円となっています。



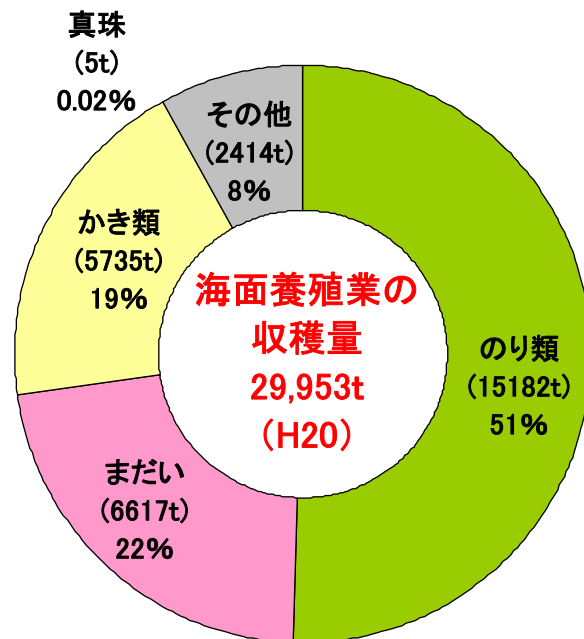
漁業種類別生産額の構成比

*漁業種類別生産額は平成19年以降漁業種類別の取りまとめを行っていないため、平成18年の結果を掲載しました。

(5) 海面養殖業の収穫量と生産額

平成20年の海面養殖業の総収穫量は29,953tであり、そのうち、のり類養殖が15,182t（生重量）と、全体の51%を占めています。

その他では、まだい養殖が6,617tで全体の22%、かき類養殖（殻付）が5,735tで19%となっています。



海面養殖業の収穫量の構成比

海面養殖業種類別収穫量の主要指標(H20)

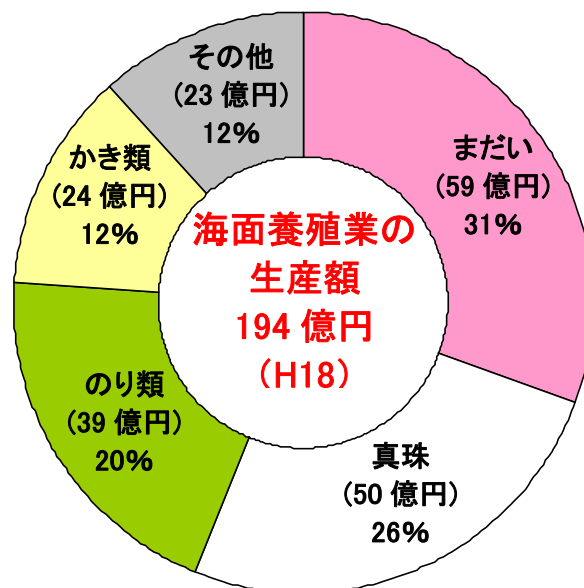
区分	全国(トン) (真珠は kg)	三重県(トン) (真珠は kg)	全国 シェア (%)	全国順位	
				H20	H19
のり類	338,523	15,182	4.5	8	9
まだい	71,588	6,617	9.2	3	3
かき類(殻付)	190,344	5,735	3.0	5	5
真珠	23,813	5,079	21.3	3	3
ぶり	102,076	534	0.5	10	11

平成18年の海面養殖業の生産額は194億円でした。そのうち、まだい養殖が59億円と、全体の31%を占めています。

その他、真珠養殖が50億円（26%）、のり類養殖が39億円（20%）、かき類養殖（殻付）が24億円（12%）となっています。

平成19年度の海面漁業の総生産額は、226億円となっています。

* 漁業種類別生産額は平成19年以降の取りまとめを行っていないため、平成18年の結果を掲載しました。



海面養殖業の生産額の構成比

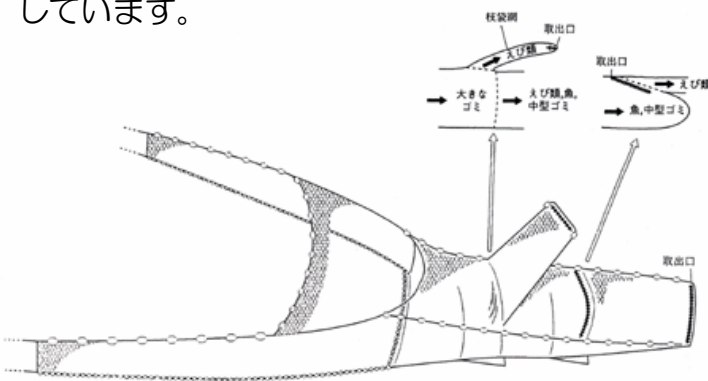
(6) 三重県の主な漁業

① 小型底びき網漁業

(1) 概要

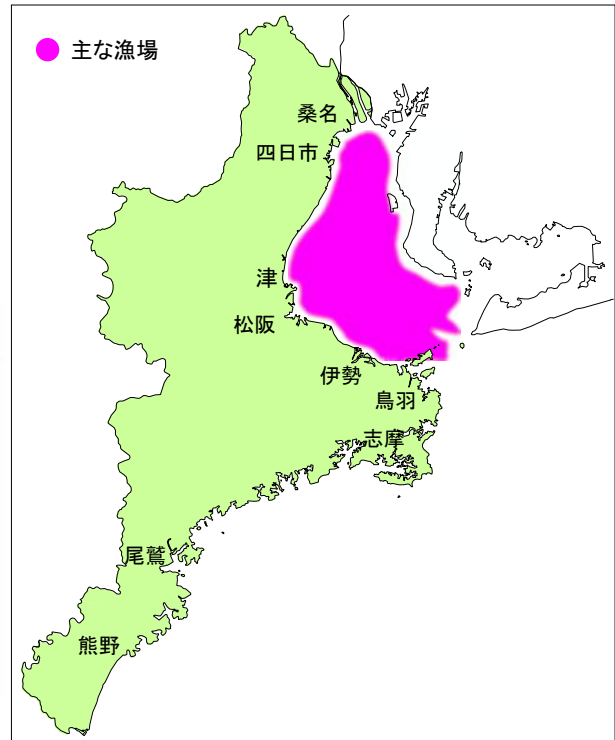
底びき網は、袋状の網を海底に接着させて漁船で曳く漁法です。

本県では、アナゴなどの魚類を対象とする**まめ板網**、ヨシエビなどのえび類を対象とする**えびびき網**、バカ貝など二枚貝を対象とする**貝けた網**などがあり、約 500 経営体が伊勢湾を中心に操業しています。



えびびき網漁具図

(2) 主な漁場



貝けた網漁船



バカガイ入札の様子

(3) 主な漁獲物



アナゴ



よしえび

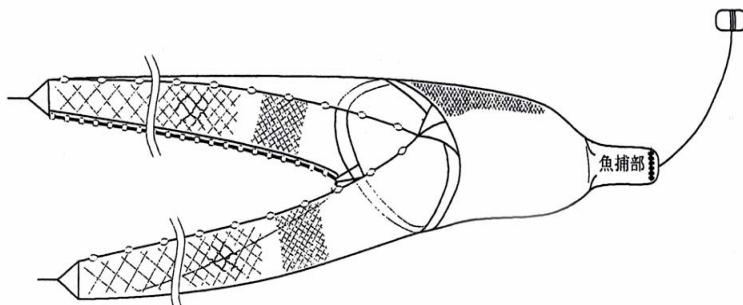


バカガイ

②機船船びき網漁業

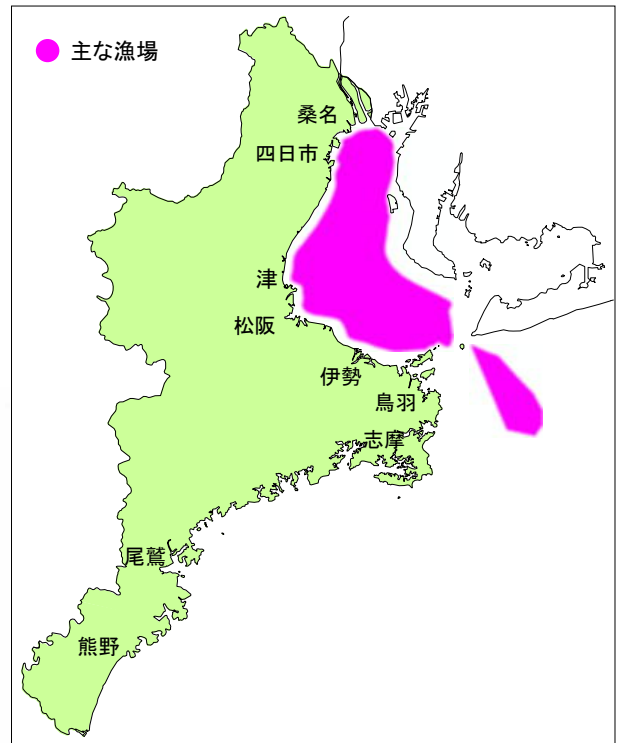
(1) 概要

機船船びき網は、2隻の漁船で袋状になった網を曳き、表層や中層の魚を漁獲する漁法です。本県では、伊勢湾内で春のイカナゴを対象とする**ばっち網**、**いかなご船びき網**、夏のイワシを対象とする**いわし船びき網**、伊勢湾口を漁場とする**いわし・いかなご船びき網**、**親いかなご船びき網**、冬のサヨリを対象とする**さより船びき網**など、約150経営体が操業しています。



いわし・いかなご船びき網漁具図

(2) 主な漁場



停泊中の船びき網



投網の様子

(3) 主な漁獲物



いかなご



さより



かたくちいわし

③採貝漁業

(1) 概要

採貝は、沿岸の砂浜域でジョレンと呼ばれる漁具などを用いて、二枚貝を漁獲する漁業です。

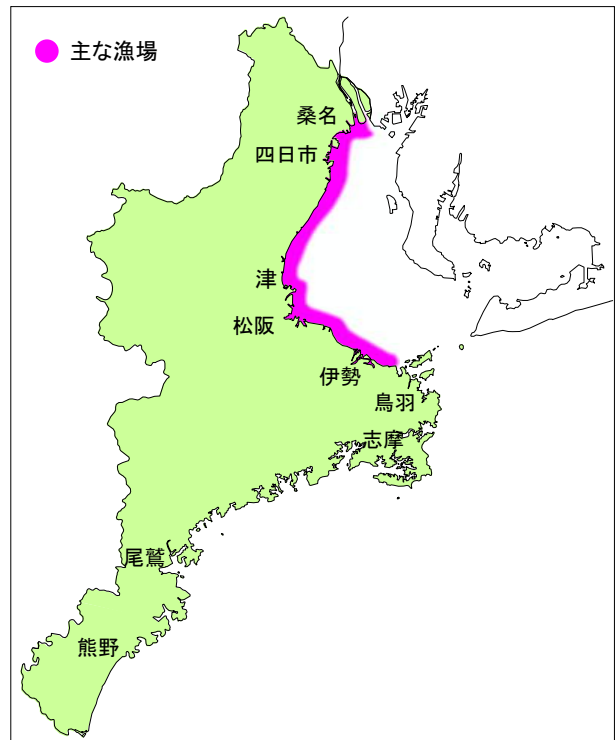
伊勢湾一帯ではアサリやバカガイ、木曾三川の河口域ではシジミやハマグリが多く漁獲されています。

アサリは全国有数の生産地として知られ、平成20年度は2,489トンが漁獲されましたが、近年は漁獲量の減少が続いており、資源管理の取組が行われています。



採貝漁具図(ジョレン)

(2) 主な漁場



採貝の様子



しじみの選別

(3) 主な漁獲物



あさり



しじみ



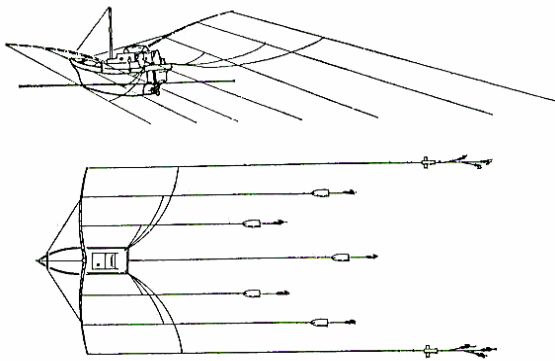
はまぐり

④釣漁業

(1) 概要

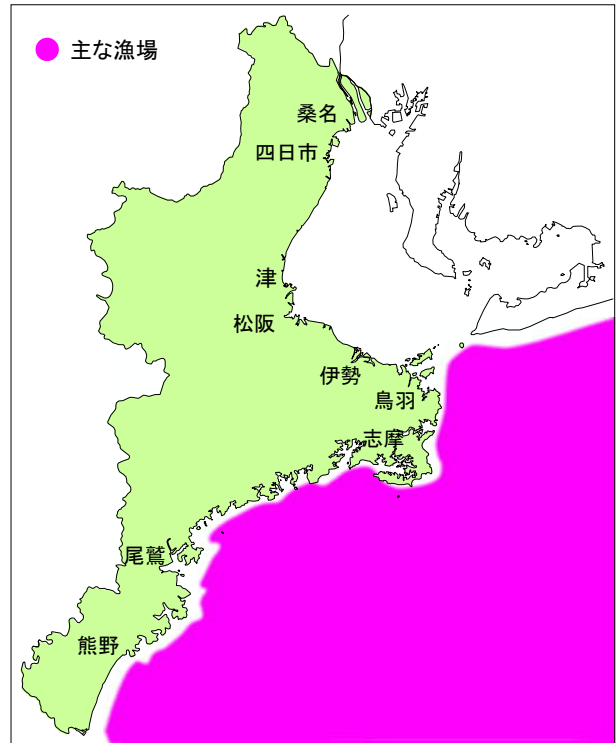
釣漁業は、対象となる魚種や地形に合わせて、**一本釣**、**曳縄**、**延縄**などさまざまな漁具漁法により営まれています。

なかでも遠洋カツオ一本釣は、約30年にわたり全国第1位の漁獲量を誇っているほか、沿岸域では、マダイ、イサキ、イカ類などが小型漁船による一本釣や曳縄釣で漁獲されています。伊勢湾口から熊野灘沿岸ではトラフグを対象とした延縄漁業が営まれています。



ケンケン釣作業図

(2) 主な漁場



カツオ一本釣漁船



ケンケン釣漁船

(3) 主な漁獲物



かつお



まだい



とらふぐ

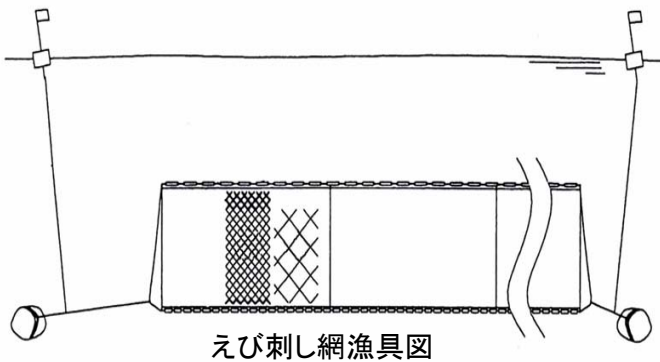
⑤ 刺し網漁業

(1) 概要

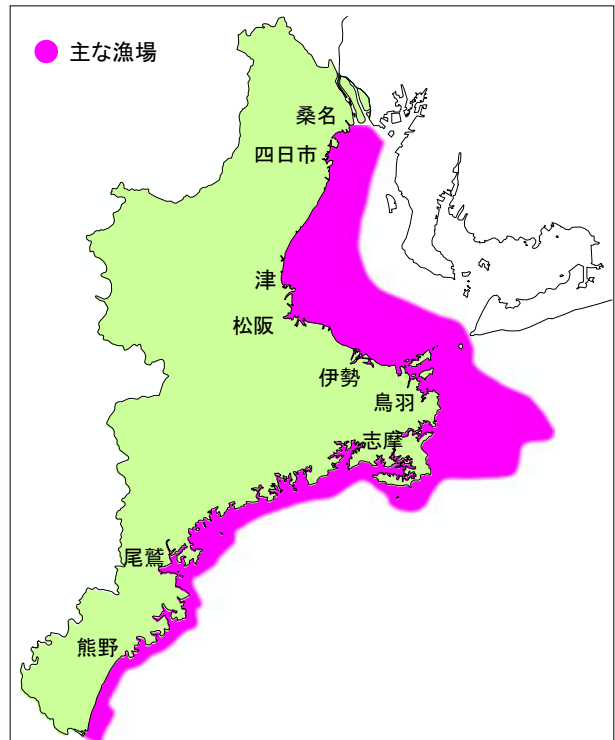
刺し網は、海中に網を長く帯状に設置して魚やエビの遊泳経路を遮断し、網に絡ませることにより漁獲する漁法です。

網を固定して設置する**固定式刺し網**は、伊勢湾ではカレイ類やクルマエビ、鳥羽から熊野灘沿岸ではイセエビを漁獲対象として操業されています。また伊勢湾口ではキスなどの底魚類を対象とした**流し網**も行われています。

特にイセエビは、平成20年の漁獲量が全国第2位であり、『県の魚』に指定されています。



(2) 主な漁場



投網の様子



網さばき風景

(3) 主な漁獲物



いせえび



くるまえび



かれい類

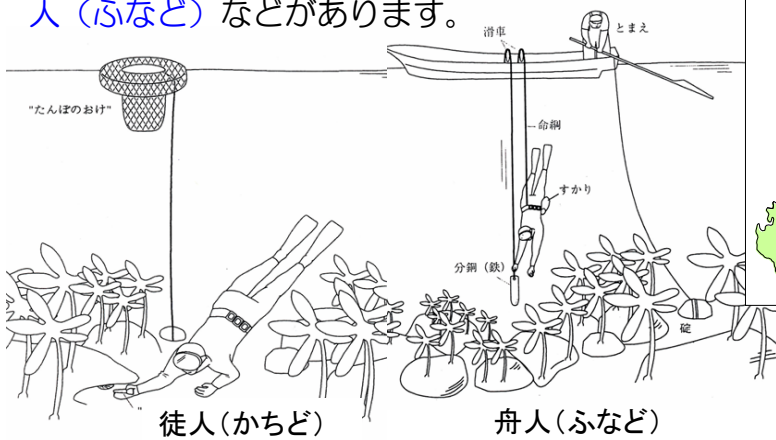
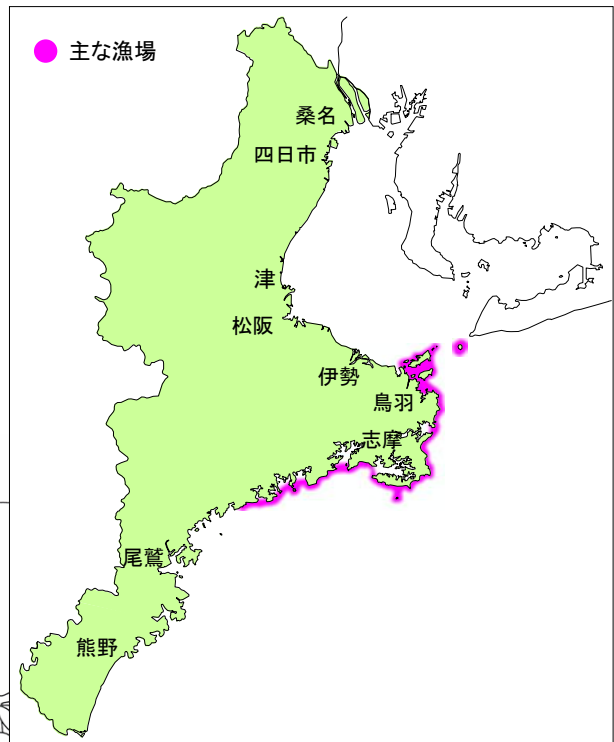
⑥海女（海士）漁業

(1) 主な漁場

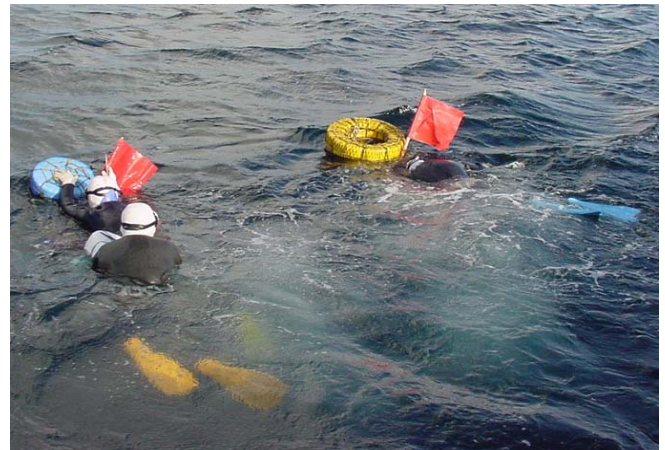
海女（海士）漁は古くから外海沿岸で行われてきた伝統ある漁法です。

漁場が近い場合は陸から泳いで、遠い場合は船に乗りあって比較的浅い磯（水深5～8m）まで行き、自力で潜ってアワビ、サザエなどを漁獲する徒人（かちど）と、夫婦など二人で水深の深い（10～15m）磯場まで船で行き、海女が分銅につかまって一気に海底まで潜り、獲物を獲ると船上の船主（トマエ）に合図して引き上げてもらう舟人（ふなど）などがあります。

(2) 概要



潜水開始



操業中の海女たち

(3) 主な漁獲物



あわび



さざえ



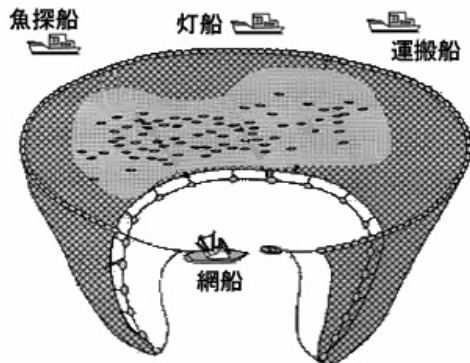
なまこ

⑦まき網漁業

(1) 概要

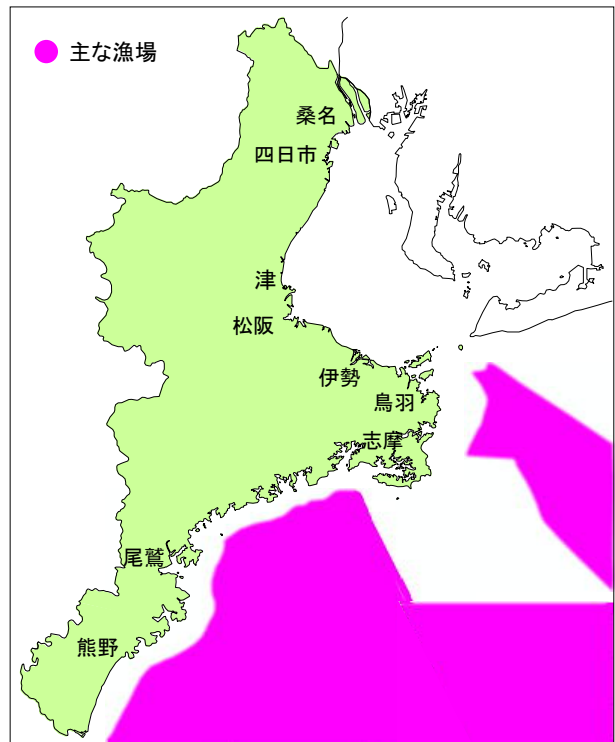
まき網は、魚群を網で包囲して遊泳経路を断ち、網を絞り込んで漁獲する漁法です。

遠洋・沖合域でカツオやマグロを対象とする**大中小型まき網**と、沿岸海域でアジ、サバ、イワシ類を対象とする**中型まき網、小型まき網**があり、魚群を探す船（探索船）、魚群を集魚灯により集める船（灯船）、魚を漁獲する船（網船）、漁獲した魚を運ぶ船（運搬船）などが船団を組んで操業します。



まき網操業図

(2) 主な漁場



まき網漁船



水揚げの様子

(3) 主な漁獲物



かつお



さば類

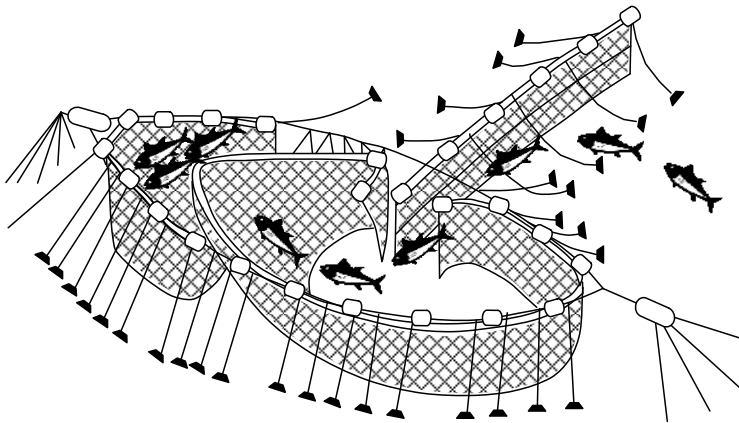


かたくちいわし

⑧定置網漁業

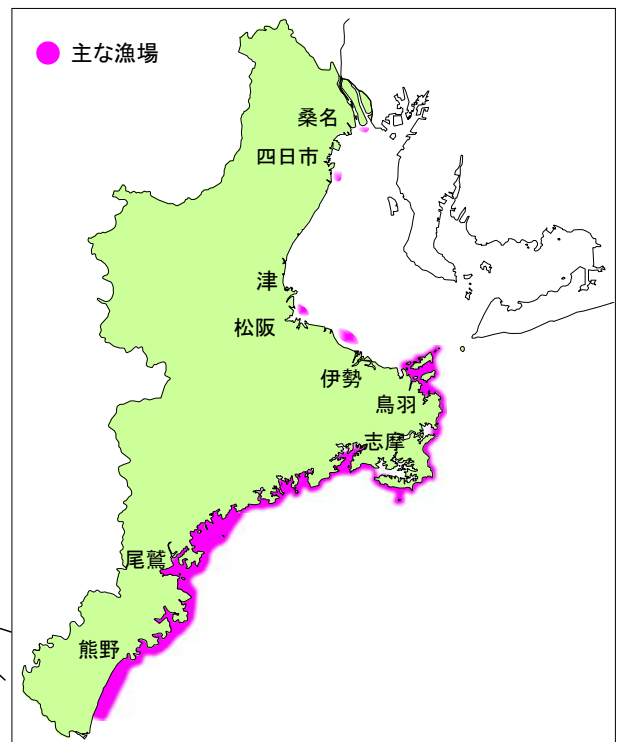
(1) 概要

定置網は、魚の通り道（魚道）に網漁具を設置して魚群を誘導し、網に入り込んだ魚を漁獲する漁法です。水深27m以深に設置され、大敷網とよばれる**大型定置網**、27m以浅の共同漁業権内に設置され、壺網と呼ばれる**小型定置網**があります。



定置網漁業漁法図

(2) 主な漁場



揚網の様子



取上げ作業

(3) 主な漁獲物



まあじ



ぶり類



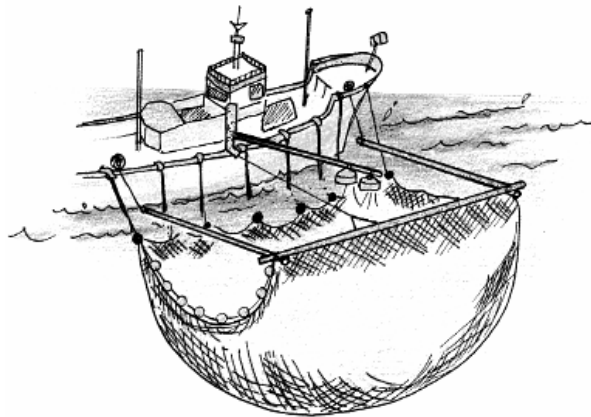
さば類

⑨敷網漁業（火光利用棒受網）

（１）概要

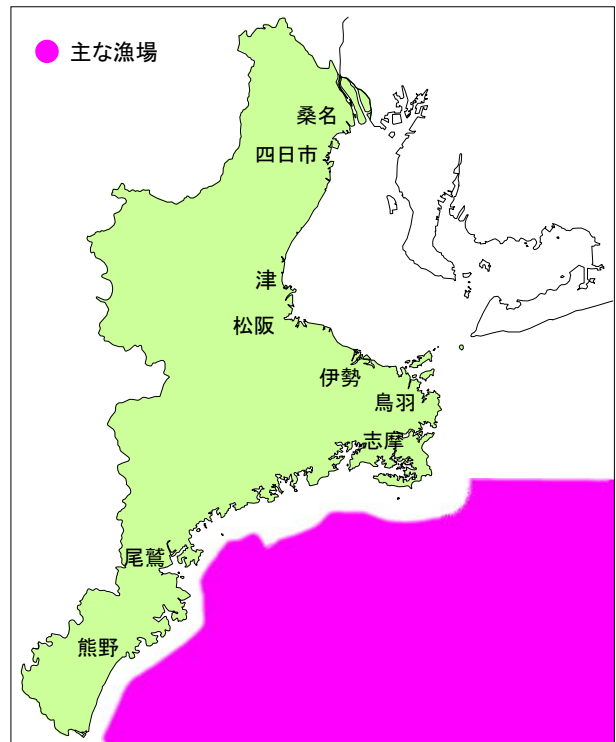
敷網は、方形の網を海中に敷設し、集魚灯を用いて魚群を網の上に誘導して、すくい獲る漁法です。

熊野灘では、冬季に三陸沖から南下してきたサンマを対象として**さんま棒受網**が行われており、その漁獲物は天日干しされ、さんまの丸干しとして東紀州地域の特産品となっています。



火光利用棒受網操業図

（２）主な漁場



揚網の様子



水揚げの様子

（３）主な漁獲物



さんま



そうだがつお

⑪青のり養殖業

(1) 概要

波の穏やかなリアス式海岸の湾奥を利用して、冬から春にかけて青のり（ヒトエグサ）が養殖されています。

本県の青のり生産量は、近年では300～500トンを維持しており、国内生産の約6割を占め、全国第1位となっています。青のりは「あおさ」とも呼ばれ、佃煮やみそ汁の具材として利用されています。

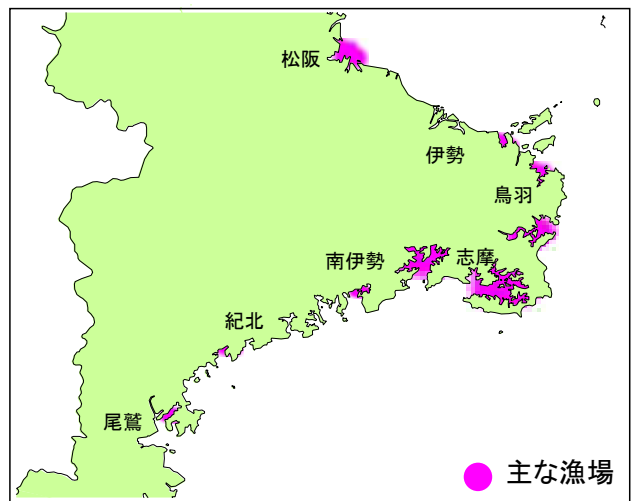


青のり



入札前の品定めの様子

(2) 主な漁場



育苗の様子



天日干し風景

(3) 青のり養殖 年間作業スケジュール

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1年目									天然採苗		育苗	
2年目	育苗	摘採・出荷										

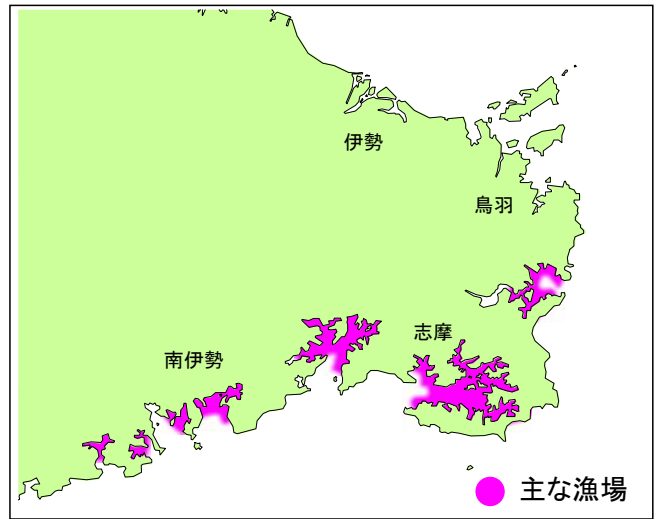
⑬ 真珠養殖業

(1) 概要

三重県は真珠養殖の発祥地であり、リアス式海岸の複雑な地形を利用して、英虞湾を中心にアコヤガイ真珠養殖が行われています。

1～2年かけて成長させたアコヤガイ（母貝）の体内に主に春先から初夏にかけて核と外套膜の一部を挿入する核入れ手術を行い、餌の豊富な漁場で育成させた後、冬場に貝から真珠を摘出する浜上げが行われます。

(2) 主な漁場



核入れ作業



真珠



育成中の母貝掃除の様子



アコヤガイと真珠

(3) 真珠養殖 年間作業スケジュール（当年もの）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1年目											避寒・核入れ手術準備	
2年目	避寒・核入れ手術準備			核入れ手術・沖出し			貝掃除			浜揚げ		
3年目	浜揚げ											

豊かな資源をつくり守る

漁業者は、水産資源の持続的な利用に向けて、栽培漁業や資源管理に取り組んでいます。

(1) 栽培漁業

栽培漁業とは、死亡率の高い卵から稚魚・稚貝までの時期を人工的に管理した水槽などで飼育し、天然の藻場や岩礁、人工魚礁などへ放流して適正な管理を行い、対象とする水産生物の持続的な利用を図ろうとするものです。

種苗生産

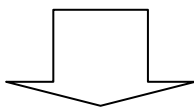
親魚を養成して採卵し、人工的にふ化させて稚魚や稚貝を生産します。



ヒラメ稚魚



トラフグ稚魚

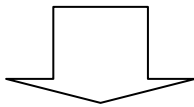


中間育成

放流される漁場環境に慣れさせるため、放流に適した大きさに育てます。



中間育成クルマエビ

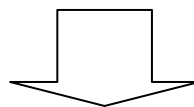


放流

漁場環境、対象生物の生態、漁業の実態等を考えて適地を選び、計画的に放流します。



漁業者によるヒラメ放流



資源管理と漁業

漁場の整備と水産生物の保護を行い、資源の管理と持続的な利用の促進に努めています。



トラフグの標識放流



三重県栽培漁業センター



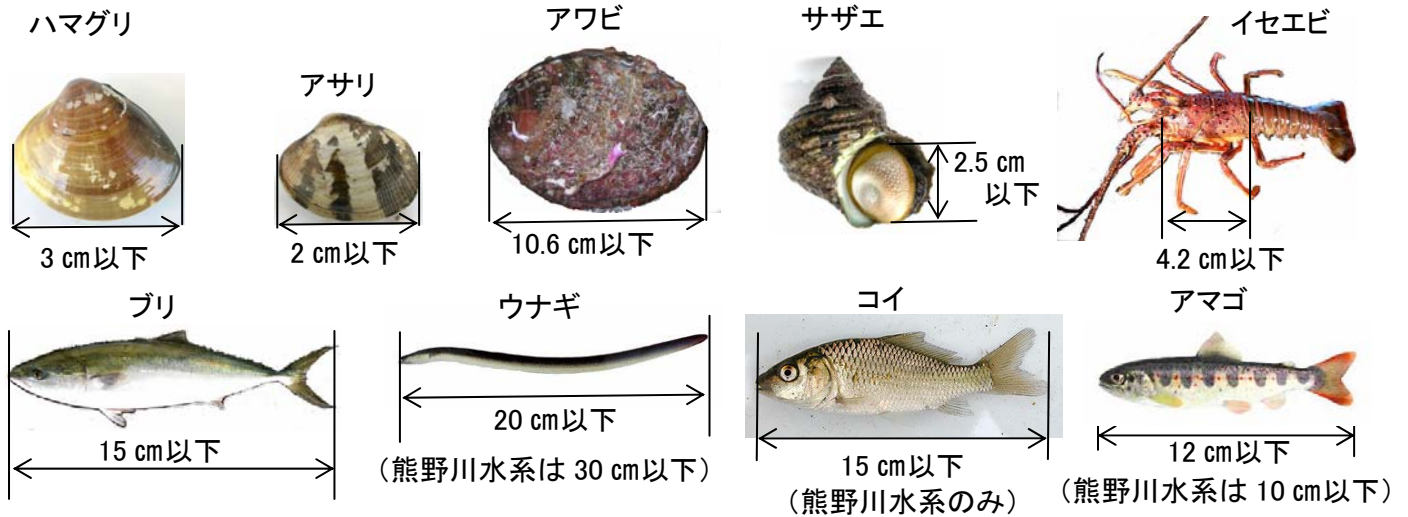
三重県尾鷲栽培漁業センター

(2) 資源管理

資源管理とは、資源量の変動など、資源の性質を十分理解した上で適切に管理し、限りある水産資源を有効的に利用しようとするものです。

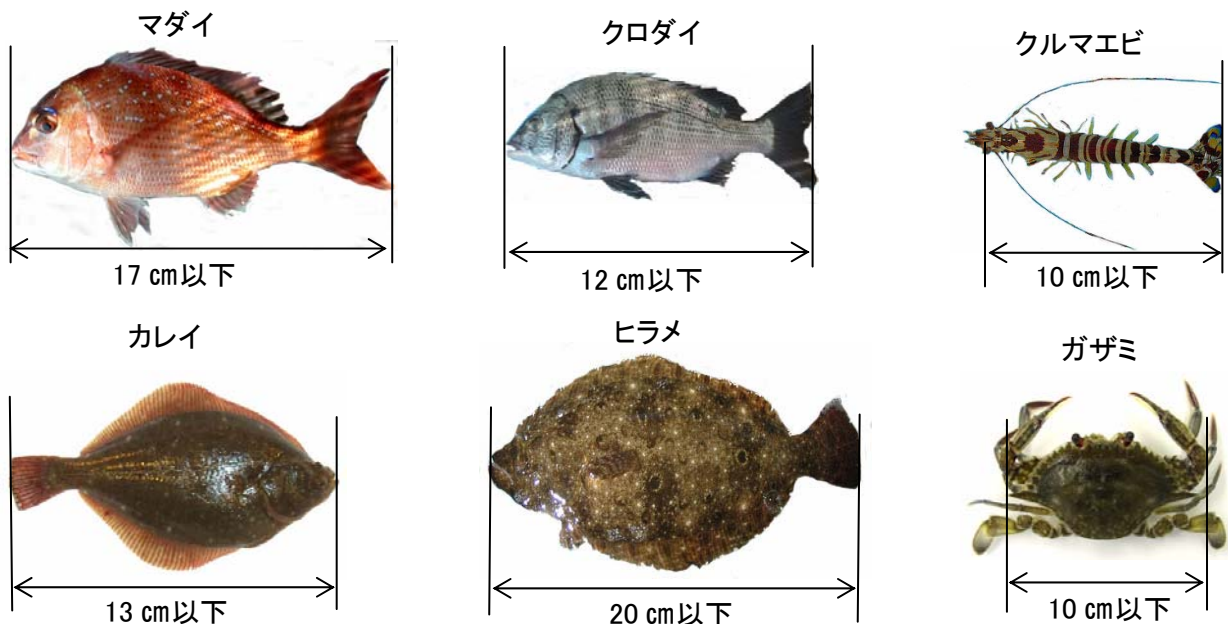
具体的には、漁獲サイズや禁漁日の設定、漁獲方法の変更、出荷調整などがあります。

『三重県漁業調整規則』により、以下の大きさ及び期間のものの採捕が禁止されています。また、これらの規制に違反して採捕された水産動物又は製品の所持・販売も禁止されています。



種名	採捕禁止期間
アワビ	9月15日～12月31日
イセエビ	5月1日～9月30日(鳥羽市離島地域以北は5月1日～9月15日)
タイラギ	6月1日～7月31日
アユ	1月1日～5月31日
アマゴ	10月1日～翌年2月末日
ウグイ	3月1日～5月31日(熊野川水系のみ)

また、三重県資源管理・密漁防止対策協議会では、再放流する大きさを決め、指導しています。



漁村の伝統文化を継承する

三重県の沿岸域には多くの漁村が点在し、そこに暮らす人々は、代々受け継がれてきた伝統文化や風習を愛し、守り、次代に伝えてきました。

これらの伝統行事や食文化は、現在では観光や地域間の交流などに幅広く活用され、私たちの生活に潤いをもたらし、心の安らぎを与えてくれているのです。

(1) 伝統行事

漁村で生活する人々は、限られた漁場を共同で利用することにより相互扶助の精神で結ばれ、日常生活の中で、長い歳月をかけて独特の文化を形成してきました。

これらは海にまつわるさまざまな信仰や伝統行事として残され、現在も大切に受け継がれ、漁村に暮らす人々の絆となり、活力の源となっています。



しろんご祭(鳥羽市菅島町)
海女達が大漁と海上安全を祈願するお祭りです。



ゲーター祭(鳥羽市神島町)
無事平穏な新年の日の出を迎える願いを込めた戦いのお祭りです。



相差天王くじら祭(鳥羽市相差町)
鯨に縁の深い相差町で、平成元年から始まったお祭りです。



わらじ祭(志摩市大王町波切)
ダンダラボッチの民話が元になったとされるお祭りです。三重県の無形文化財に指定されています。



潮かけ祭(志摩市志摩町和具)
鎌倉時代初期から続く海の安全と大漁を祈願するお祭りです。船同士、人同士海水を掛け合います。



港祭(南伊勢町田曾浦)
祭り当日は海の幸が載った御輿が練り歩きます。



神祭(南伊勢町礪浦)
「塩切り」:お供えした塩漬けの魚等をまな板の上で切り身にする儀式です。



伊勢えび祭(志摩市浜島町)
海の幸への感謝と豊漁を願って行われています。

(2) 食文化

漁村には、水揚げされる魚介類を利用した伝統的な食文化が存在します。また、地元の新鮮な魚介類は、県内の都市部においても数々の料理に用いられ、新しい食文化を支える重要な役割を担っています。



鰹のてこね寿司



「ありのふぐ」のてっさ



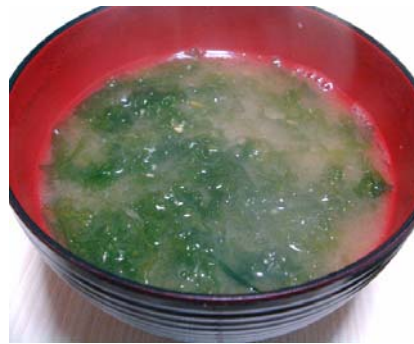
「宝彩エビ」(クルマエビ)の刺身



アコヤガイ貝柱の刺身



鰹茶漬け



青のりの味噌汁



桜扇(ひおうぎ)貝



鯛飯



からすみ



いかなごの釜揚げ



牡蠣の佃煮



姫貝(ばか貝)の干物



さめのたれ



青のりのかき揚げ



ちりめん



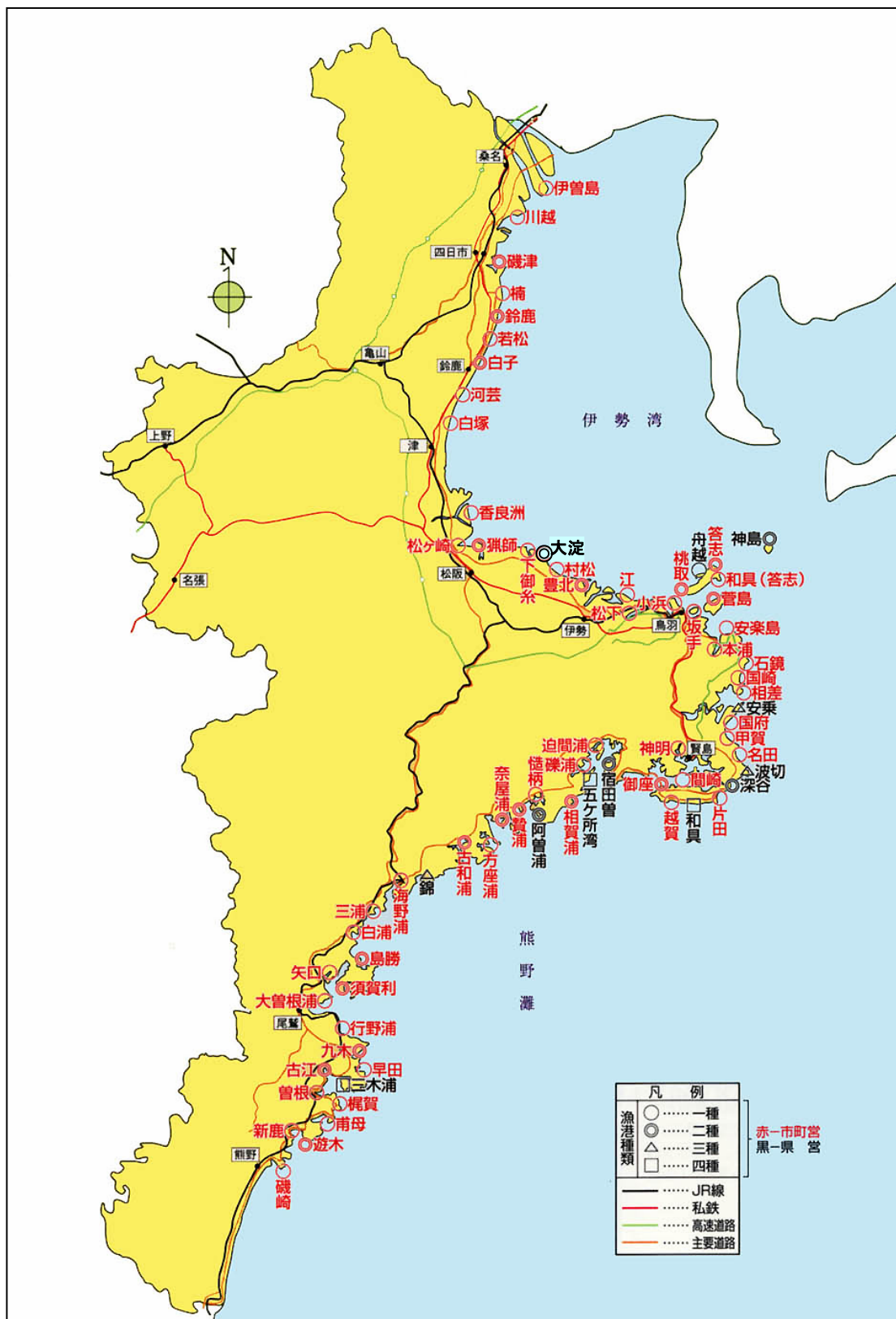
かますの姿寿司



さんま丸干し

漁業を支える漁港・漁村・漁場の整備

(1) 三重の漁港位置図



(2) 活力のある漁港づくり

漁港は、水産物を安定的に供給するための流通基盤としての機能を持ち、漁業地域の活性化にはなくてはならない施設です。そこで、本県では、地域の漁場と密接に関連する第1種漁港～第4種漁港を整備し、漁業者だけでなく漁港を利用する全ての人にとって便利な、活力ある漁港づくりを推進しています。

神島漁港

○ 神島の主要産業である漁業活動が安全で安心に行えるよう漁港の整備を実施しました。

【事業名】地域水産物供給基盤整備事業

* 漁港漁場整備長期計画(平成14年度～21年度)

【総事業費】2,230,000千円

【整備内容】防波堤、突堤、泊地浚渫、岸壁、用地



完成した南防波堤



神島漁港全景

舟越漁港

○ 答志島内には3漁港がありますが、台風等荒天時に安全に係留できる岸壁が不足していることから、避難港として整備を実施しました。

また、通常時にはノリ、ばち網漁等の陸揚げ港としても利用する計画となっています。

【事業名】地域水産物供給基盤整備事業

* 漁港漁場整備長期計画(平成14年度～21年度)

【総事業費】1,851,400千円

【整備内容】防波堤、突堤、泊地浚渫、岸壁、道路



舟越漁港全景



台風時避難の係留状況



浮棧橋からのノリ積込状況

安乗漁港

○ 拠点漁港に位置づけられたことや中型まき網漁業の水揚げによって不足している陸揚げ岸壁及び駐車場用地を整備しています。また、地域ブランドとして確立された「あのりふぐ」の安定供給を図るため、蓄養岸壁を整備しています。

【事業名】広域漁港整備事業

* 漁港漁場整備長期計画(平成18年度～21年度)

【総事業費】401,200千円

【整備内容】泊地浚渫、浮棧橋、駐車場整備



安乗漁港全景



完成した浮棧橋



駐車場が整備され運搬車両と一般車両分離されました

さらに、平成20年4月には安乗関連道路も供用開始し、漁港へのアクセス道としての利便性、安全性の向上が図られています。

【事業名】農林漁業用揮発油税財源身替漁港関連道整備事業

【事業実施年度】平成13年度～19年度

【総事業費】598,200千円

【施行延長】L=941m



完成した関連道

(5) 恵まれた漁場環境づくり

漁場の生産力の回復や水産資源の生息場の環境改善等により、水産資源を維持・増大させ、水産物の安定供給を図るため、大型魚礁の設置や藻場造成、大規模浚渫による閉鎖性海域の環境改善等に取り組んでいます。

英虞湾工区(浚渫)

【事業名】閉鎖性海域における漁場環境保全創造事業

○三重保全地区漁場環境保全創造事業計画

(平成14年度～23年度)

【総事業費】3,000,700千円



高濃度薄層浚渫船

錦工区(カジメ場造成)

【事業名】漁場環境保全創造事業

○三重保全地区漁場環境保全創造事業計画

(平成18年度～21年度)

【総事業費】170,000千円



錦湾に自生するカジメ

南勢沖工区(魚礁設置)

【事業名】広域漁場整備事業

○広域漁場整備事業基本計画(平成19年度～23年度)

【総事業費】980,000千円



魚礁に蝟集するマアジ

(2) 県内の漁業協同組合（平成 22 年 12 月 1 日現在）

組合別	組合数
沿海地区漁協	24
内水面漁協	27
業種別漁協	8

(3) 漁協合併の実績

漁業協同組合は、漁業者の協同組織として販売や購買事業等、さまざまな事業を通じて漁業の振興や漁村地域の活性化に貢献してきました。

現在、これらの漁協が将来にわたってその役割を果たしていくことができるよう、漁協の合併による経営基盤の強化を進めています。

これまでの成果として、沿海漁協では、平成 12 年に現・南伊勢町の 16 漁協による初めての広域合併が実現して「くまの灘漁業協同組合」が誕生して以降、各地域で広域合併が相次ぎました。平成 22 年 2 月には、志摩市以南の 12 漁協が合併し、組合員数が全国有数の規模を誇る「三重外湾漁業協同組合」が誕生し、現在の県内沿海地区漁協数は 24 となりました。また業種別組合では真珠養殖漁協の合併が実現するなど、各地で合併への努力が実を結んでいます。

合併実績

平成 12 年 6 月	くまの灘漁業協同組合	現・南伊勢町内の 16 漁協参加
平成 13 年 4 月	熊野漁業協同組合	熊野市内の 6 漁協参加
平成 14 年 6 月	松阪漁業協同組合	現・松阪市の 4 漁協参加
7 月	志摩の国漁業協同組合	現・志摩市内の 18 漁協参加
10 月	鳥羽磯部漁業協同組合	鳥羽市, 現・志摩市内の 22 漁協参加
平成 15 年 5 月	三重県真珠養殖漁業協同組合	県内の 6 真珠養殖漁協参加
平成 18 年 4 月	伊勢湾漁業協同組合	伊勢市, 明和町内の 5 漁協参加
平成 22 年 2 月	三重外湾漁業協同組合	志摩市以南の 12 漁協参加

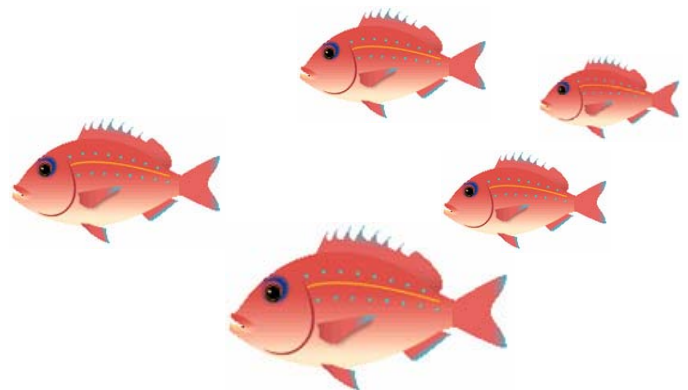
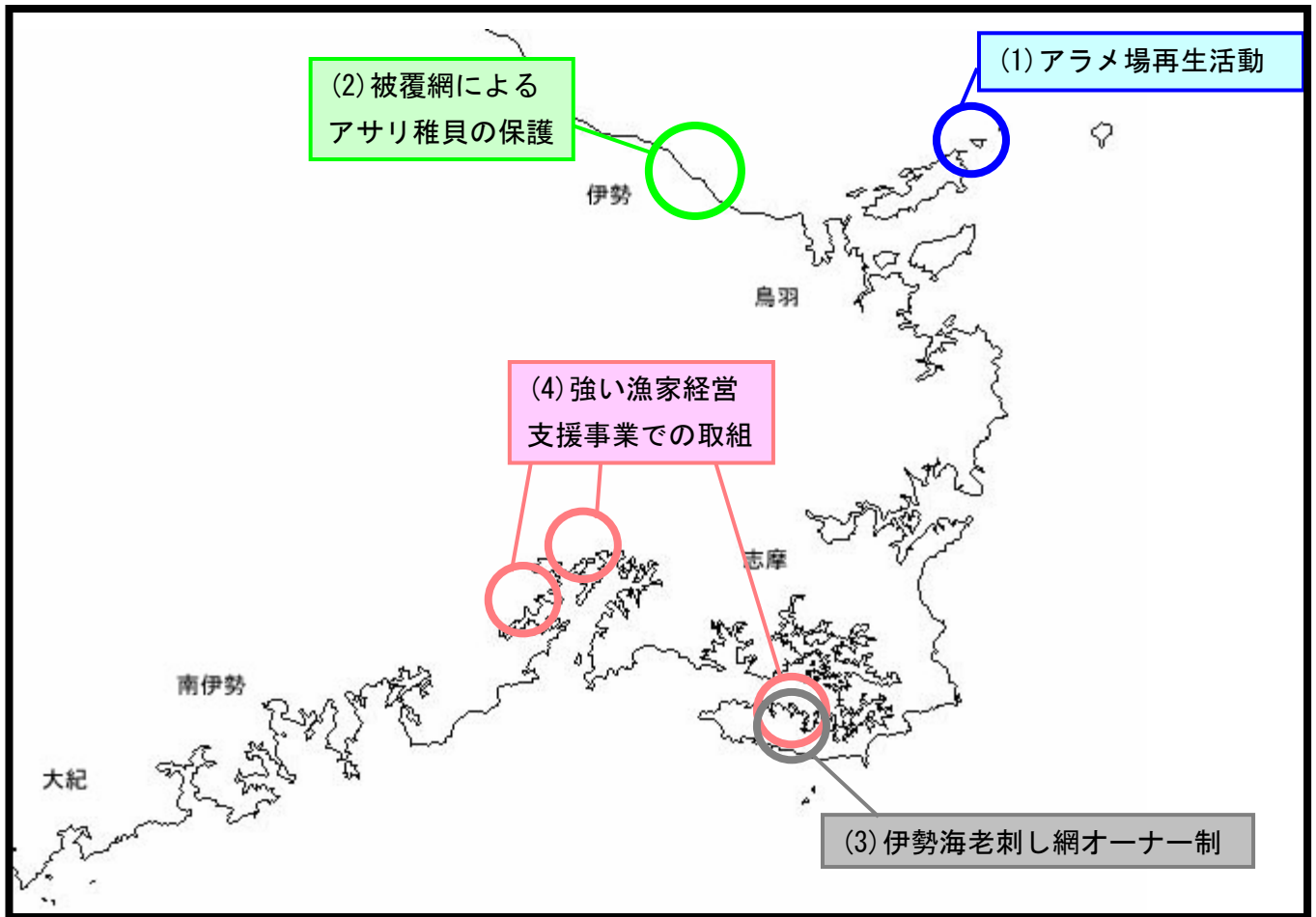


イカナゴの水揚げ



カキ祭りの開催

伊勢志摩地域の 水産トピックス



(1) アラメ場再生活動

鳥羽磯部漁業協同組合答志支所青壮年部

アラメは長さ1～2メートルに成長するコンブ科の褐色の海藻で、鳥羽地域の郷土料理であるあらめ巻きなどに利用されるほか、アワビやサザエ等の餌としても重要な役割を果たしています。また、アラメの群落はアラメ場、海中林と呼ばれ、魚介類の産卵、発育の場になります。

答志地区の岩礁域では、平成5年頃からアラメ場が磯焼けにより縮小し始め、アワビなどの漁獲量が激減しました。このため、操業日の制限や稚貝の放流など、資源回復に努めてきましたが、漁獲量は回復しませんでした。

①手づくりのアラメ場再生活動

答志支所青壮年部では、このような状況を何とかしたいという思いから、鳥羽市水産研究所など関係機関の協力を得て、アラメ場の再生活動を始めました。

地元で調達可能な自然石にアラメの幼体を植え付ける方法や、アイゴなど草食性魚種による食害を防ぐためにネットを設置する方法を確立しました。また、経費削減のため、ダイバーを雇用せず自らダイビングの資格を取得し、不慣れた潜水作業も行ってきました。



答志支所青壮年部のメンバー



自然石へのアラメ幼体取り付け



潜水によるアラメ付き石の配置



食害防止ネットの設置

②活動の継続と周辺地域への普及

こうした取り組みの甲斐あって、今では移植した海域には、1メートルを超えるアラメが多数生育するまでになりました。

本活動は平成20年度三重県青年・女性漁業者交流大会における発表で知事賞を受賞し、県代表として参加した全国大会では農林水産大臣賞を受賞しました。さらに、平成21年度（第48回）農林水産祭では天皇杯を賜り、天皇皇后両陛下に拝謁して業績説明を行うという栄誉に浴しました。

答志支所青壮年部では、ふるさとの、アラメの生い茂る豊かな海、アワビ、サザエのたくさんいる海、子供や孫に自慢できる海を目指し、現在も再生活動を続けています。また、同様の磯焼けの問題を抱える県内の複数の地区でも、答志の手法を取り入れた取り組みが始まっており、これらの地区の漁業者とも交流しています。

平成21年度から、藻場等の保全活動を支援する「環境・生態系保全活動支援事業」がスタートしており、こうした海の森を取り戻す活動がさらに広まることを期待しています。



移植海域で成長したアラメ

アラメ場再生活動に関する詳細については下記連絡先までお問い合わせください。

伊勢農林水産商工環境事務所水産室 TEL:0596-27-5189

(2) 被覆網によるアサリ稚貝の保護

伊勢湾漁業協同組合今一色支所

アサリ採貝漁は黒ノリ養殖と共に伊勢湾漁業協同組合の基幹漁業であり、アサリ採貝漁に従事している漁業者は全体の7割を占めています。

しかし、アサリの生産量は近年減少しています。今一色での生産量もかつてはしばしば600トンを超え、多い年には1,600トンに達していましたが、近年は100トン前後と少なくなっています。また、黒ノリ養殖は、赤潮の発生による色落ち被害が出ており、単価が下がり収入も減少しています。

①ノリ網を使ったアサリ稚貝の保護活動

アサリ等の二枚貝はノリの色落ちの原因となる珪藻等の植物プランクトンを摂餌し、糞や尿の形で栄養塩を排出するため、アサリ資源が増えるとノリの色落ち被害が軽減される可能性があります。

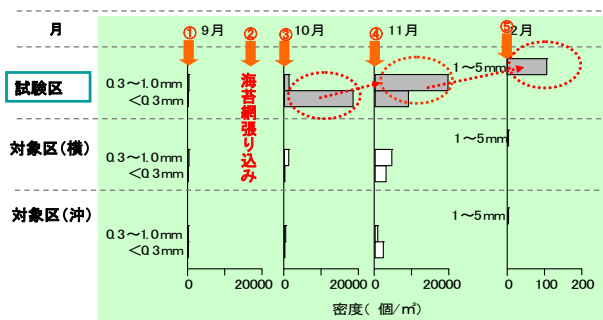
そこで、今一色支所では平成15年9月にアサリ

資源保護対策の先進的な取り組みを行っている熊本県松尾漁協へ視察に行き、同年10月から被覆網によるアサリ稚貝の保護活動を開始しました。被覆網として、古くなったノリ網を使う等、手持ちの資材の有効活用し、網の張り方や場所の選定を試行錯誤しつつ被覆網を張る範囲を広げていきました。また、県水産研究所のアドバイスと協力を受け、効果の調査を行いました。その結果、被覆網はアサリ浮遊幼生の着底促進に大きな効果が認められることと、被覆網は着底稚貝の歩留まりを高め、稚貝保護の役割を果たしていることが確認されました。



被覆網の敷設

着底・成長した稚貝



①9/26事前調査 ②10/13網張り込み ③10/25稚貝調査
④11/26稚貝調査 ⑤2/7稚貝調査

H19年度試験における試験区と対照区のアサリの殻長別密度の推移

②活動の継続と周辺地域への普及

この取り組みは、平成22年度に第60回浅海養殖研究発表全国大会で発表を行い、水産庁長官賞を受賞しました。この大会への参加および受賞がきっかけとなり、若手を中心としたノリ養殖業者の間で先進的な技術や市場の現状等を学ぼうという意識が高まり、視察等に行く機会が増えています。

また、今一色支所での取り組みで良い結果がでていることから、伊勢湾漁協の他の支所でも被覆網によるアサリ稚貝の保護の取り組みが始められています。



浅海養殖研究発表全国大会

アサリ稚貝の保護に関する詳細については下記連絡先までお問い合わせください。

伊勢農林水産商工環境事務所水産室 TEL:0596-27-5189

(3) 伊勢海老刺し網オーナー制

三重外湾漁業協同組合 和具青壮年部

三重県のイセエビの漁獲量は全国でもトップクラスであり、志摩市志摩町和具は県内でも有数のイセエビの漁獲量を誇る地区となっています。和具青壮年部は、後継者対策として小学生や高校生に対する漁業体験を毎年行っています。また、資源管理対策としてマダイ・トラフグ・ヒラメの稚魚放流や、さらに漁場保全対策としてカジメ場造成などを行っています。



①和具青壮年部のイセエビPRの取り組み

和具青壮年部は、“武勇”と“長寿”の象徴であるイセエビを核とする様々な取り組みを実施しています。例えば、イセエビが解禁される10月にはインターネットによる100箱限定の「激安伊勢海老販売」や、市場で流通しにくい大型のイセエビは「ジャンボ伊勢海老オークション」を行うなどして、和具産のイセエビを県内外にPRしています。そして、平成20年10月には、全国初となる「伊勢海老刺し網オーナー制」を企画し取り組んでいます。「伊勢海老刺し網オーナー制」は、イベント開催日限定でオーナーを募集し、一網で漁獲したイセエビをオーナーの人数で山分けします。



②「伊勢海老刺し網オーナー制」の概要

オーナーは、応募時に、網元となる4人の船頭から1人を選んで大漁を託します。イベント当日、網元の漁船に乗りイセエビ刺し網漁業を体験し、自ら網揚げを行います。網に刺さったイセエビを船頭や他の漁師の指導のもと網捌きを行い、イセエビやその他魚介類を網から取り外します。その後、1隻あたりのイセエビ漁獲量を計量し、1人あたりの“分け前”を決定します。漁港の広場では、獲れたて新鮮のイセエビや魚介類のバーベキューを楽しむことができます。



②地元旅館組合や志摩市観光協会との連携

地元旅館が遠方からのオーナーの来訪に備えて宿泊セットを提供したり、また、宿泊したオーナーが志摩を満喫できるよう志摩の観光名所やアクティビティな体験ができる施設を紹介しています。なお、イベント当日には、イセエビ料理の紹介や地元郷土料理の試食なども行っています。



③今後の展開

水産業および観光業の垣根を越えて、イセエビを核とする地域の活性化に取り組んでいきます。

和具青壮年部の活動内容の詳細については、「和具青壮年部」のHPでご覧いただけます。

<http://www.suncraft.com/wagu/index.html>

(4) 強い漁家経営支援事業での取組

迫間浦鯛クラブ 他

強い漁家経営支援事業とは、意欲ある漁業者グループが、漁家経営安定のために「もうかる漁業の推進」と「県内水産物の価値向上を図る取組」を行う場合に県が支援するもので、平成21年度から始まっている制度です。

①支援事例1：養殖マダイの加工

自ら育てたマダイを加工施設で自ら加工・製造し、加工品をインターネットや量販店などで付加価値をつけて直売しています。（南伊勢町迫間浦）



②支援事例2：イセエビの販売促進

三重県産イセエビの販売促進と地域おこしを目指して、イセエビを目玉とするイベントを開催したり、HPを充実させてインターネットによる直売を行っています。（志摩市和具）



③支援事例3：マガキの販売促進

県内では知名度が低い南勢船越のマガキをPRするとともに、安全・安心なマガキの直売を行っています。（南伊勢町船越）



浄化施設(左)、マガキ(中央)、PRカンバン(右)

強い漁家経営支援事業に関する詳細については下記連絡先までお問い合わせください。

伊勢農林水産商工環境事務所水産室 TEL:0596-27-5189

三重県の主な水産情報サイト

(1) 海と魚の情報サイト



みえのうみ

海、山、川、陸で生活する人々が、三重県の海や河川の環境を「さかなの立場」に立って考えるための情報を発信。生き物検索や地域の取組紹介など。

【URL】 <http://www.sea.pref.mie.jp/mirainet/>



三重県水産研究所

人工衛星や自動観測ブイから得た水温などの海況情報を解析し、提供しています。おさかな雑録は一見の価値有り。

【URL】 <http://www.mpstpc.pref.mie.jp/SUI/>



津農林水産商工環境事務所水産室—伊勢湾の漁業と環境—

伊勢湾で水揚げされる魚介類や漁法、漁獲統計などを掲載。漁場調査結果や赤潮情報など環境情報も充実。

【URL】 <http://www.pref.mie.jp/tnokan/hp/suisan/isewan/s-index.htm>



尾鷲農林水産商工環境事務所水産室

尾鷲湾の環境速報や市場の水揚げ情報などを掲載。市場のある日は毎日更新を目標にしています。

【URL】 <http://www.pref.mie.jp/ONOKAN/HP/suisan/suisantoppage.htm>



三重県水産振興事業団

マダイ、ヒラメ、トラフグ、クルマエビなど、三重県の重要な資源を増やすため、人工種苗の生産に取り組んでいます。

【URL】 <http://www7.ocn.ne.jp/~miesaise/>



三重県漁業無線局

沖合海域の海洋情報、海況予報、遠洋・沖合かつおまぐろ漁船や近海で操業するかつお船などの動向も。

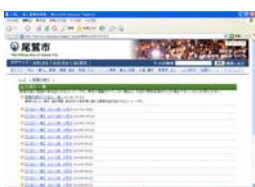
【URL】 <http://www1.ocn.ne.jp/~jfh333/>



養殖情報ネットワーク みえ

三重県の魚類養殖とのかき養殖について詳しく紹介。バーチャル養殖ゲームなど、楽しみながら養殖について学ぶことができます。

【URL】 <http://osakana-mie.com/>



三日に一魚

尾鷲のおいしい魚を、連日早朝、魚を求めて魚市場に現れる尾鷲市長が紹介するコーナーです。

【URL】 http://www.city.owase.lg.jp/category_list.php?frmCd=5-9-0-0-0

(2) 漁業団体の情報サイト



みえぎょれん

三重県漁業協同組合連合会のホームページ。組織紹介のほか、海や漁業の紹介、お魚料理レシピやコンクールの案内など。

【URL】 <http://www.miegyoren.or.jp/>



鳥羽磯部漁業協同組合

季節の魚の紹介、カキやイセエビの Web 販売など。漁協直営の海鮮食堂「魚々味」、千賀フィッシングパークの情報など。

【URL】 <http://www.osakanaikiiki.com/>



三重外湾漁業協同組合紀州北支所錦事業所

漁協直営の釣り堀・釣り筏の案内など。最新釣果情報や、画像による釣果写真館もあります。

【URL】 <http://www.mie-nishiki.com/>



三重県真珠養殖漁業協同組合

組織の紹介、関係機関が調査した英虞湾漁場環境情報の紹介、真珠養殖の歴史や養殖方法の紹介等。真珠製品のオンラインショッピングもされています。

【URL】 <http://www.mie-pearl.or.jp/>



立神真珠養殖漁業協同組合

組織の紹介、干潟調査や環境学習など真珠研究会の活動、プランクトンや水温の観測データの紹介など。

【URL】 <http://www7.ocn.ne.jp/~tateshin/>

(3) 食の情報サイト



三重ブランド

自然を活かす技術をコアコンセプトに三重県が認定した「三重ブランド」の認定品の紹介。水産品では、真珠、伊勢えび、あわび、的矢かき、ひじき、あのりふぐ。

【URL】 <http://www.miebrand.jp/>



あのりふぐ協議会

伊勢湾から遠州灘で漁獲される体重 700g 以上の天然トラフグを、生産者団体と商工観光団体が連携して「あのりふぐ」としてブランド化しました。

【URL】 <http://anorifugu.info/>



みえのかき安心情報

マガキのシーズン中は毎週金曜日に海域情報やノロウィルス情報を提供。カキのアイデア料理コンテストなども人気。

【URL】 <http://www.pref.mie.jp/NHOKEN/HP/kaki/1-index/>

●三重県の主な水産関係機関●

農水商工部水産資源室	〒514-8570 津市広明町 13 TEL. 059-224-2584, 2588, 2590 FAX. 059-224-2608
農水商工部水産経営室	〒514-8570 津市広明町 13 TEL. 059-224-2582, 2606 FAX. 059-224-2608
農水商工部水産基盤室	〒514-8570 津市広明町 13 TEL. 059-224-2598, 2597 FAX. 059-224-2618
津農林水産商工環境事務所水産室	〒514-8567 津市桜橋 3-446-34 TEL. 059-223-5128, 5133 FAX. 059-223-5151
伊勢農林水産商工環境事務所水産室	〒516-8566 伊勢市勢田町 622 TEL. 0596-27-5189, 5192 FAX. 0596-27-5243
尾鷲農林水産商工環境事務所水産室	〒519-3695 尾鷲市坂場西町 1-1 TEL. 0597-23-3511, 3514 FAX. 0597-23-0683
三重県水産研究所	〒517-0404 志摩市浜島町浜島 3564-3 TEL. 0599-53-0016, 0130 FAX. 0599-53-2225
三重県漁業協同組合連合会	〒514-0006 津市広明町 323-1 三重県水産会館 TEL. 059-228-1200 FAX. 059-225-4511
三重県内水面漁業協同組合連合会	〒519-2732 度会郡大紀町野添 163 TEL. 05988-3-2293
三重県真珠養殖連絡協議会	〒516-0037 伊勢市岩渕 1-3-19 TEL. 0596-28-4140

○写真提供（順不同）

尾鷲県民センター、あのりふぐ協議会、みえのカキ安心協議会、鳥羽磯部漁業協同組合、海の博物館、
三重県農水商工部水産資源室、三重県農水商工部マーケティング室、三重県水産研究所、三重県水産研究所尾鷲水産研究室
伊勢志摩きらり千選実行グループ（リアス式海岸、市場の様子、伝統行事写真）

○参考

『三重県の漁業 漁業センサス結果報告書』平成 2 年 3 月、三重県地域振興部統計課、平成 7 年 3 月、三重県地域振興部統計課、平成
12 年 3 月、三重県総合企画局統計調査課、平成 17 年 3 月、三重県総合企画局統計調査室、平成 22 年 3 月、三重県政策部統計室
『三重農林水産統計年報』平成 21 年 3 月、平成 22 年 3 月、三重県農林水産統計協会
『漁業・養殖業生産統計年報』平成 19 年 12 月、平成 21 年 2 月、農林統計協会
『三重県漁業地区別統計表』平成 20 年 3 月、東海農政局三重農政事務所・三重農林水産統計協会
『三重県漁業の動向』平成 19 年 3 月、三重県農林水産統計協会
『伊勢湾口域の漁具・漁法』平成 12 年 3 月、三重県・社団法人日本水産資源保護協会
『鳥羽志摩地方の海女物語』平成 15 年 3 月、三重県農林水産統計協会

みえの水産（2010 年度版）

平成 23 年 2 月印刷・発行

編集・発行 三重県伊勢農林水産商工環境事務所水産室

〒516-8566 三重県伊勢市勢田町 622
TEL. 0596-27-5189 FAX. 0596-27-524

表紙写真
漁業体験：小学生が
イセエビ刺し網漁業を
体験している様子
裏表紙絵
県のさかなイセエビ

みえの 水産

2010年度版



この冊子は伊勢農林水産商工環境事務所水産室のHPからダウンロードできます。

<http://dkint01/INOKAN/HP/suisan/index.htm>